



愛知県の
産地の現状

🍁愛知県奥三河地域では、冷涼な気候を活用した中山間農業や豊かな自然を活用した観光産業が営われている。

🍁愛知県の中山間地では、厳寒期の気温はマイナス零度を下回る。そのため、野菜、花き等の施設園芸では、重油ボイラーを用いて最適な栽培環境を維持する必要があるが、燃油価格が高騰する中、暖房コストの増大が負担となっている。



トマトの育苗



シクラメンの育苗



愛知県山間農業研究所



農総試での
関連研究成果

🍁夏秋トマト栽培では、やしから培地耕における環境制御技術を開発した。

🍁中山間地域において鉢物の適性のある品目（ミムラス、レウイシア、ハイドランジア）を選定した。



夏秋トマト栽培



アジサイ（鉢物）



解決したい
困りごと

🍁厳寒期に育苗温度を15℃を保つことで質の良い苗を育成することができるが、燃油高騰により十分な温度を与えることができず、経営が逼迫している。

🍁中山間地の厳寒期の野菜、花きの育苗における燃料削減を目的とした、効率的な加温及び保温方法として、セルトレイや3号ポットでの育苗時に局所的に温度を安定させる資材等の開発や低コストで精密な温度管理が可能となる育苗技術の開発が望まれている。

🍁豊かな自然と共存していくため、環境に配慮した持続的な農業技術の開発が望まれている。



解決案

提案募集番号5-6

キーワード：中山間地における保温システム

中山間地における保温システムの構築

環境に配慮した持続的な農業技術として、中山間地における燃油削減を目指した、保温効果の高い資材の開発や暖房温度を下げるができる育苗システムを構築し、精密な温度管理による低コスト育苗技術を開発する。

担当者：山間農業研究所・園芸研究室・甲村瞭次、河野文賜



上記は農業総合試験場の考える解決策であってこれら以外の提案も歓迎します。